

同時発表：(独)海技教育機構

平成26年1月9日
海事局海技課

初めての内航海運事業者の自社船を活用した乗船実習(内航社船実習)の実施 ～学生・乗組員(教員)に対するアンケート結果～

昨年10月から開始されていた初めての内航社船実習の修了にあたり、学生や乗組員(各船社の乗組員で、社船実習においては教員役)に対してアンケート調査を実施しました。

(別添:アンケート結果)

【内航社船実習の概要】

- 実施者(委託者):独立行政法人海技教育機構
- 実施者(受託者):内航海運事業者5社(上野トランステック株、太平洋沿海汽船株、田渕海運株、株デュカム、(有)三原汽船)
- 協力者:日本内航海運組合総連合会
- 実施期間:平成25年10月～12月(3か月間実施)
- 対象者:同機構海上技術短期大学校(宮古、清水、波方各校)の学生。(学生を受け入れたい船社と内航社船実習を希望する学生の意向を調整した結果、初年度である今年度は5社5隻6名)
- 目的:(独)航海訓練所の練習船で実施する四級海技士養成のための9か月の乗船実習について、後期3か月は、可能な範囲で内航貨物船、RORO船、油タンカー、ケミカルタンカー等の社船にて行うことにより、内航若手船員の養成をより実践的にする。
- 今後の予定:
 - ①海上技術学校:今年7月から、5社(旭タンカー株、株海輸社、第一中央内航株、鶴見サンマリン株、東幸海運株)、8名(小樽・館山・唐津・口之津各校の学生)に対して実施予定。
 - ②海上技術短期大学校:今年10月から実施予定。船社の募集は今年5月まで、学生の募集は今年7月まで、決定時期は9月。

【お問い合わせ先】

国土交通省 海事局 海技課 船員教育室

担当者:村松、近藤

(代表)03-5253-8111(内線)45-175、45-173

(直通)03-5253-8650 FAX 03-5253-1646

【アンケート結果】

主なコメントは次のとおりです。総じて、学生及び乗組員の双方から概ね好評価でしたが、今後は今回の反省点を改善し、より良い内航社船実習にしていきます。

1. 学生(回答者:参加学生全6名)

- 航海訓練所の練習船と比較して、実際の現場作業を体験することができ良かった(6名)
- 少人数での実習であり、乗組員から丁寧な指導が受けられ良かった(4名)
- 同級生と離れ1人で乗船することによる孤独感があった(3名)
- 内航船の実態(忙しさや力不足など)から就職後に不安を感じ、さらに勉強が必要と思った(2名)
- 実習内容及び乗組員の指導に大変満足している(5名)
- この実習を通して、自分が成長したと感じた(4名)

2. 乗組員(回答者:参加船社全5社11名)

- 学生は予想以上に一生懸命実習に取り組んでいたと感じた(10名)
- 社船実習特有の事情(例えば、荷役予定が現場事情にて直前にキャンセル)により実習計画の作成が困難であったが、実習期間中に調整して無事に実習を終えることができた(9名)
- 学生に対する怪我・病気への配慮や指導方法等について、事前に不安や戸惑いがあったが、問題なく修了できた(6名)
- この実習は、乗組員との意思疎通や実践的な実習内容等から大変有意義であり、実社会へ出た時に役立つと思う(10名)

3. 反省点(全て乗組員から)

- 社船実習についての受入船社から実習をする学生への事前説明が不足していた(1社)
- 社船実習には基礎知識が不可欠であり、学生が習得しているか学校においてきちんと確認してから送り込んで欲しい(2社)
- 危険に対する基礎的注意が不十分であり、航海訓練所の練習船による実習の段階で徹底した上で学生を送り込んで欲しい(2社)

以上